

**FibreChannel ディスクアレイ装置
SATA ディスクアレイ装置
ディスクアレイ装置 (ST12300)**

Fibre Channel ディスクアレイ装置

1.概要

- 2Gbps, Optical Fibre Channel ホストインターフェース。
- 512MB キャッシュメモリ・コントローラ。
- コストパフォーマンスの高いエントリークラスのディスクアレイ装置。
- 省スペース、且つ FibreChannel 接続による大容量のディスク構成が可能。
- コントローラ、電源等の主要コンポーネントを二重化可能（一部オプション）。
- ホットスペア機能による HDD 縮退期間の最小化を実現。
- 停電時のライトキャッシュデータを保護するため、コントローラにバックアップバッテリーを装備。
- HDD、電源、ファンのホットスワップをサポート。

<留意事項>

- ディスクアレイ装置内のライトキャッシュメモリはコントローラ内蔵のバッテリーバックアップで退避処理されますが、データ保護の安全性を高めるため、UPS（無停電電源装置）と合わせてお使いになることを推奨します。

Fibre Channel ディスクアレイ装置の本体、増設できる HDD などは、以下の表を参照。

型名	製品名	備考
Fibre Channel ディスクアレイ装置(ラックマウント型)		
N8190-110	Fibre Channel ディスクアレイ装置	標準搭載 HDD なし、増設用 36.3GB/73.2GB/146.5GB HDD を最大 12 台まで追加搭載可能 高さ：2U
Fibre Channel ディスクアレイ装置収納ユニット(ラックマウント型)		
N8190-87A	ディスクアレイ装置収納ユニット	増設用 36.3GB/73.2GB/146.5GB HDD を最大 12 台まで搭載可能 高さ：2U
Fibre Channel ディスクアレイ増設用ディスク		
N8190-116	増設用 73.2GB HDD	N8190-110/87A 用 回転数：10000rpm *2
N8190-115	増設用 36.3GB HDD	N8190-110/87A 用 回転数：15000rpm *2
N8190-117	増設用 73.2GB HDD	N8190-110/87A 用 回転数：15000rpm *2
N8190-118	増設用 146.5GB HDD	N8190-110/87A 用 回転数：10000rpm *2
Fibre Channel ディスクアレイ装置用増設コントローラ		
N8190-111	Fibre Channel ディスクアレイ装置用増設コントローラ	N8190-110 のコントローラを冗長構成にする場合に必要
Fibre Channel コントローラ *1		
N8190-120	Fibre Channel コントローラ	N8190-110 を接続する基本処理装置に実装 (100 シリーズ用)
N8803-031	Fibre Channel コントローラ	N8190-110 を接続する基本処理装置に実装 (ft シリーズ用)
Fibre Channel ディスクアレイ装置管理用ソフト		
	StorView	N8190-110 用。(N8190-110 に標準添付)
Fibre Channel ディスクアレイ装置専用ラック		
N8190-104	ディスクアレイ装置専用ラック	ディスクアレイ装置または収納ユニットを縦置きに設置可能な 19 インチラック N8190-110/87A をあわせて 2 台まで実装可

*1) Fibre Channel コントローラに関しては「周辺機器仕様 Fibre Channel 接続機器」に記載。ft シリーズ用の N8803-031、およびその他本 FC アレイ装置接続に関する情報は ft シリーズのテクニカルガイドを参照願います。

*2) N8190-82A と-87A の組み合わせで使用する場合は、これらのディスクは使用できません。N8190-106/107 をご使用ください。

2.機能仕様

■Fibre Channel ディスクアレイ装置

型名		N8190-110
製品名		Fibre Channel ディスクアレイ装置
容量	標準	未実装
	最大 *1) (N8190-116 増設時)	3516GB ((146.5GB HDD×12台)×2)
	ディスクアレイ 収納ユニット増設	N8190-87A を最大 1 台増設可
	増設ディスク	N8190-116/115 /117/118*2
RAID レベル		RAID1、5
キャッシュ容量		512MB(コントローラあたり 512MB×1 枚)
Write Cache 機能		標準 HW 構成で利用可能
コントローラの信頼性		FibreChannel ディスクアレイ装置用増設コントローラ(N8190-111)を増設可能
インタフェース		FibreChannel(2Gbps : Optical)×1/Controller
ファンの信頼性		冗長ファン標準搭載(ホットスワップ可)
電源の信頼性		冗長電源標準搭載(ホットスワップ可)
環境条件	温度	10~35℃
	湿度	20~80%
電源仕様	入力電圧	AC100V±10%
	入力電流	4A
	周波数	50/60 Hz ±3Hz
	最大皮相電力	400VA 以下
	最大有効電力	380W 以下
	突入電流	33A _{0-P} 以下
	バッテリー保持時間	最大 25 時間
外形寸法	幅(W)	483 mm
	高さ(H)	88 mm(2U)
	奥行(D)	514 mm
装置形状		ラックマウント 2U *3
最大質量		30.0 kg
AC コンセント	形状	平行 2 極アース付き
	個数	2 個
発熱量		1368KJ/H
装置寿命	本体	5 年
	ディスク	5 年または 25000 稼働時間のいずれか早い到達時
	ファン	30000 稼働時間
	電源	5 年
	コントローラ	5 年
	バッテリー	2 年

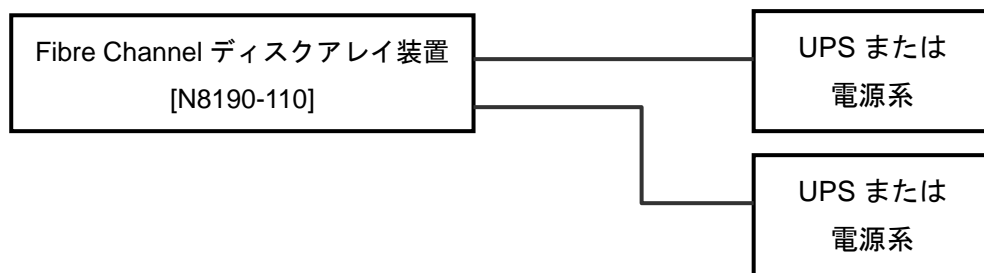
*1 物理容量で計算

*2 容量の異なるディスクは同一システム内に混在しないことを推奨。混在する場合、スペアディスクは最も容量の大きいデータディスクと同容量のものを使用すること。回転数の異なるディスクを混在することは不可。

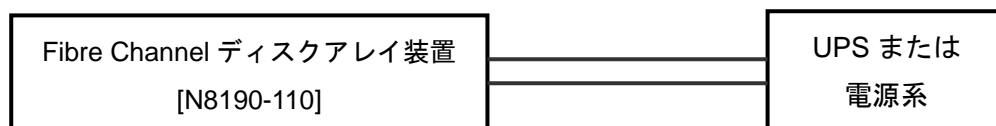
*3 ディスクアレイ装置用専用ラック [N8190-104] に搭載し据え置き可能。

(注意)

- ※ 1つのシステムで接続可能なディスクアレイ装置は、SATA ディスクアレイ装置または、Fibre Channel ディスクアレイ装置のいずれか一方のみ。
- ※ ST12000 や iStorage など他の Fibre Channel ディスクアレイ装置との混在は不可。
- ※ Fibre Channel ディスクアレイ装置に OS をインストールしての起動は不可。データ用の領域としてのみ使用可能。
- ※ バッテリーは寿命が短いため、寿命時期がきたら有償保守部品による交換を推奨。
- ※ バッテリーでバックアップされるのはキャッシュメモリのみ。
- ※ 増設 RAID コントローラ[N8190-111]を増設した場合は Host I/O カードのディップスイッチの設定変更が必要です。取扱説明書にしたがって設定変更してください。
- ※ Fibre Channel ハブ、Fibre Channel スイッチによる接続は未サポート。
- ※ 本ディスクアレイ装置を使用したシステムの最大構成は2サーバ+1アレイ。
- ※ 本ディスクアレイ装置を接続する Express サーバでディスクアレイコントローラを使用する場合は、以下のディスクアレイコントローラを使用することが可能。
 - ・ N8103-53A ディスクアレイコントローラ
 - ・ N8103-52 ディスクアレイコントローラ
 - ・ N8103-80 ディスクアレイコントローラ
 - ・ N8103-81 ディスクアレイコントローラ
 - ・ N8103-86 ディスクアレイコントローラ
- ※ 本ディスクアレイ装置は電源が2個搭載され、冗長電源となっております。本装置添付の2本の AC ケーブルは異なる UPS もしくは電源系に接続してください。1台の UPS または1つの電源系に接続する場合、AC ケーブルは2本とも1台の UPS または1つの電源系に接続してください。
<UPS2台または電源系が2系統の場合>



<UPS1台または電源系が1系統の場合>



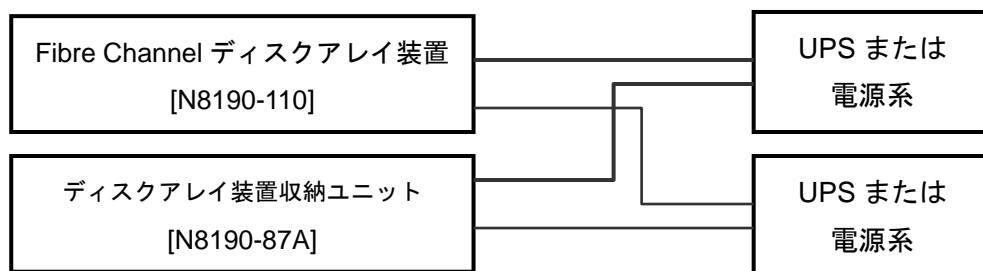
Fibre Channel ディスクアレイ装置
SATA ディスクアレイ装置
ディスクアレイ装置(ST12300)

■Fibre Channel ディスクアレイ装置収納ユニット

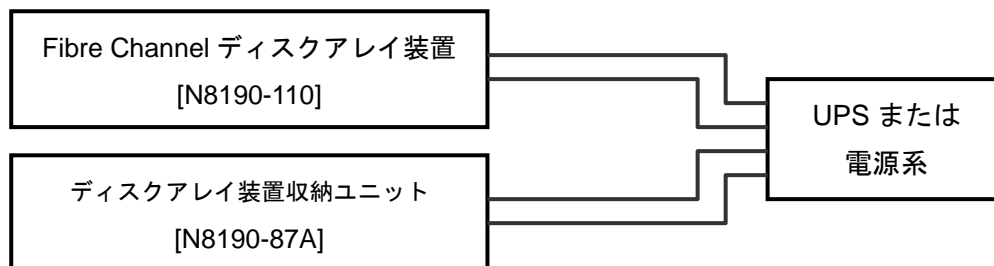
型名	N8190-87A	
製品名	ディスクアレイ装置収納ユニット	
容量	標準	HDD 未実装
	最大	最大 12 台まで
	増設ディスク	増設ディスクはディスクアレイ装置に依存
RAID レベル	RAID 1、5	
インタフェース	FibreChannel(200MB/s : SFP ×2)	
ファンの信頼性	冗長ファン標準搭載	
電源の信頼性	冗長電源標準搭載	
環境条件	温度	10~35 °C
	湿度	20~80 %
電源仕様	入力電圧	AC100V±10%
	入力電流	3.8A
	周波数	50/60 Hz ±Hz
	最大皮相電力	380 VA 以下
	最大有効電力	360 W 以下
	突入電流	50A _{0-P} 以下
外形寸法	幅(W)	483mm
	高さ(H)	88mm(2U)
	奥行(D)	514 mm
装置形状	ラックマウント	
最大質量	28.0kg	
AC コンセント	形状	平行 2 極アース付き
	個数	2 個
発熱量	1368KJ/H	
装置寿命	本体	5 年
	ディスク	5 年または 25000 稼働時間のいずれか早い到達時
	ファン	30000 稼働時間
	電源	5 年

(注意)

- ※ Fibre Channel ディスクアレイ装置(N8190-110)に接続する場合、Disk I/O カードの転送速度のジャンパピンの設定変更が必要です。取扱説明書にしたがって設定変更を行ってください。
 - ※ Fibre Channel ディスクアレイ装置と収納ユニットをまたがない RAID 構築を推奨。
 - ※ Fibre Channel ディスクアレイ装置に 1 台まで増設可能。
 - ※ Fibre Channel ディスクアレイ装置と収納ユニットの接続には以下の部材が必要。
 - ディスクアレイ装置収納ユニット光接続キット[NS8190-109] x1
- <内訳>
- SFP モジュール [N8190-103] x 4
 - FC ケーブル(5m 2 本セット)[NF9320-SJ01 同等品] x1
- ※ ディスクアレイ装置収納ユニットは電源が 2 個搭載され、冗長電源となっております。本装置添付および Fibre Channel ディスクアレイ装置)の AC ケーブルの接続については下図をご参照ください。
- <UPS2 台または電源系が 2 系統の場合>



<UPS1 台または電源系が 1 系統の場合>



Fibre Channel ディスクアレイ装置
SATA ディスクアレイ装置
ディスクアレイ装置(ST12300)

■Fibre Channel 用増設用 HDD

型名		N8190-116	N8190-115
製品名		増設用 73.2GB HDD	増設用 36.3GB HDD
容量		73.2GB	36.3GB
平均シークタイム(ms)	Read	4.9	3.8
	Write	5.5	4.2
回転速度		10,000rpm	15,000rpm
平均回転待ち時間(ms)		2.99	2.00
最大データ転送速度(MB/s)	同期	212	212
インターフェース		Fibre Channel	Fibre Channel
形状		1"ハイト(トレイ付)	1"ハイト(トレイ付)
増設用 HDD オプション適合表			
◎ : 標準搭載及び増設可、○増設可、×増設不可			
N8190-110	本体	○	○
N8190-87A	増設筐体	○	○

型名		N8190-117	N8190-118
製品名		増設用 73.2GB HDD	増設用 146.5GB HDD
容量		73.2GB	146.5GB
平均シークタイム (ms)	Read	3.8	4.9
	Write	4.2	5.5
回転速度		15,000rpm	10,000rpm
平均回転待ち時間(ms)		2.00	2.99
最大データ転送速度(MB/s)	同期	212	212
インターフェース		Fibre Channel	Fibre Channel
形状		1"ハイト(トレイ付)	1"ハイト(トレイ付)
増設用 HDD オプション適合表			
◎ : 標準搭載及び増設可、○増設可、×増設不可			
N8190-110	本体	○	○
N8190-87A	増設筐体	○	○

(注意)

- ※ 上記表の「平均シークタイム」、「回転速度」、「平均回転待ち時間」、「最大データ転送速度」は、論理値であり、Fibre Channel ディスクアレイ装置の性能を示すものではありません。
- ※ 容量の異なるディスクは同一システム内に混在しないことを推奨。混在する場合、スペアディスクは最も容量の大きいデータディスクと同容量のものを使用すること。回転数の異なるディスクを混在することは不可。

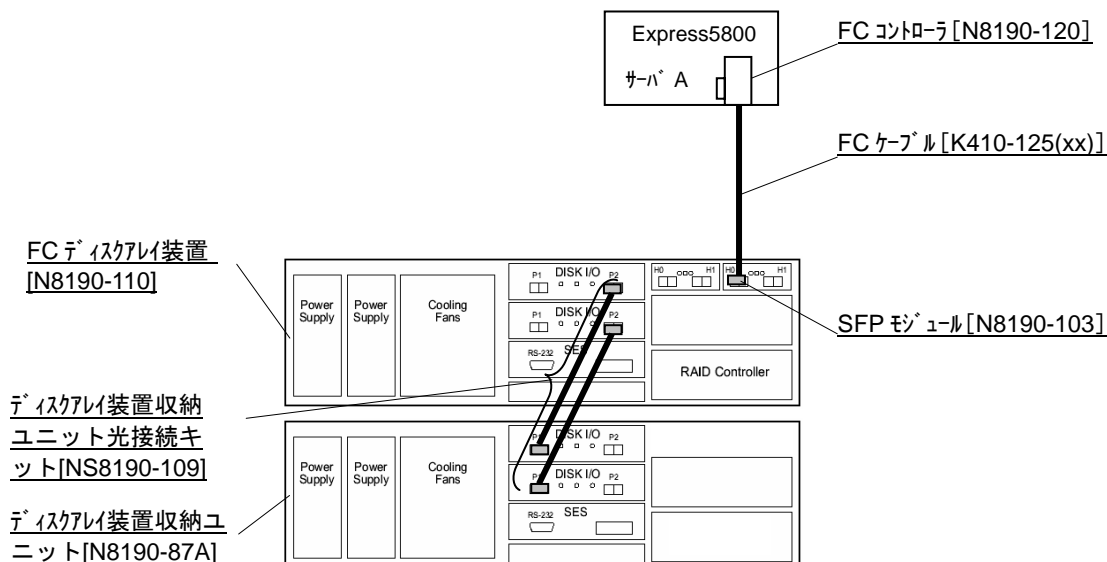
■ディスクアレイ装置専用ラック

型名		N8190-104
製品名		ディスクアレイ装置専用ラック
標準添付品	19"ラックフレーム、 フロントドア、サイドパネル スタビライザ	
接続対象	N8190-110 N8190-87A ディスクアレイ装置または収納ユニット(2U)を2台まで実装可	

3.接続構成について

本ディスクアレイ装置は、Express5800/100 シリーズの以下の5つの接続構成をサポートしています。

構成 1-1



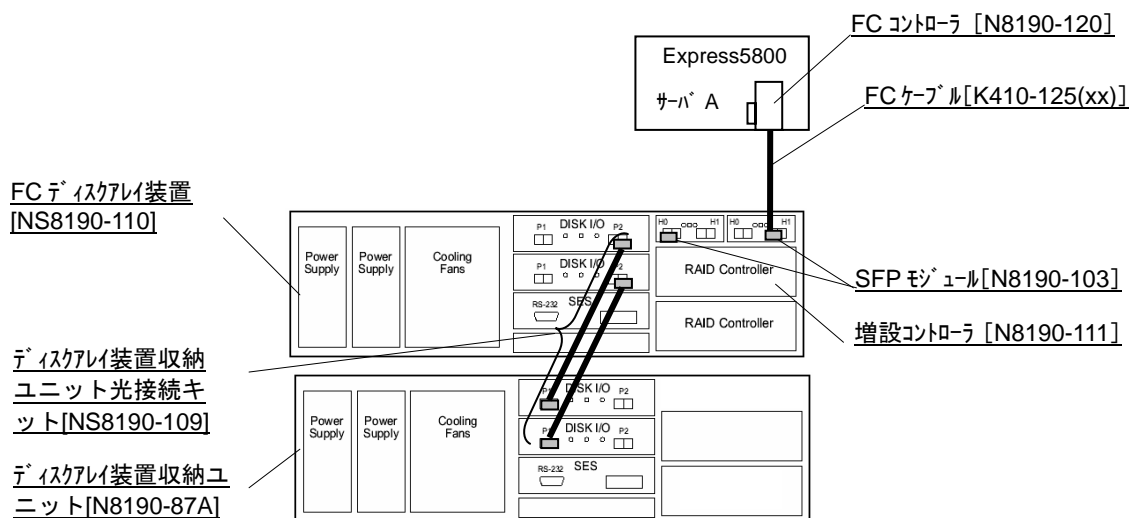
* [N8190-87A]を1台増設可能。増設時は[NS8190-109]を1式手配すること。

<特徴>

- ・ RAID/Fibre Channel コントローラの故障に対する冗長性が無い。

Fibre Channel ディスクアレイ装置
SATA ディスクアレイ装置
ディスクアレイ装置(ST12300)

構成 1-2



- * [N8190-87A]を 1 台増設可能。増設時は[NS8190-109]を一式手配すること。
- * Fibre Channel ディスクアレイ装置用増設コントローラ[N8190-111]の購入が必要となります。

これにより RAID コントローラ故障時のフェイルオーバー/フェイルバックが可能。

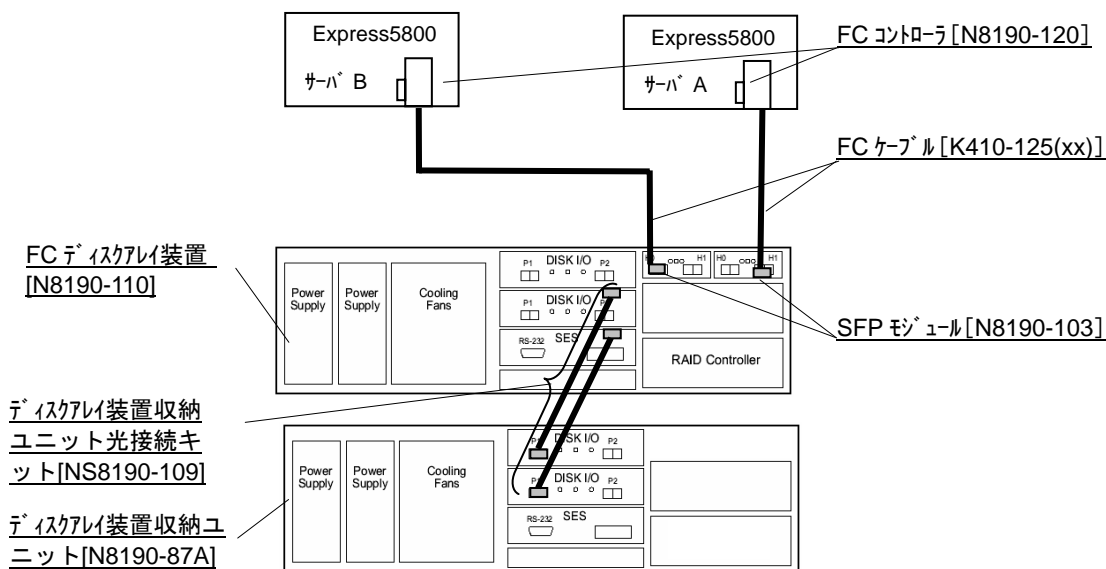
<特徴>

- ・ RAID コントローラの故障に対する冗長性が有る。

Fibre Channel ディスクアレイ装置
 SATA ディスクアレイ装置
 ディスクアレイ装置(ST12300)

構成 2-1

2004 年 03 月出荷分より、クラスタ構成が標準サポートとなりました。



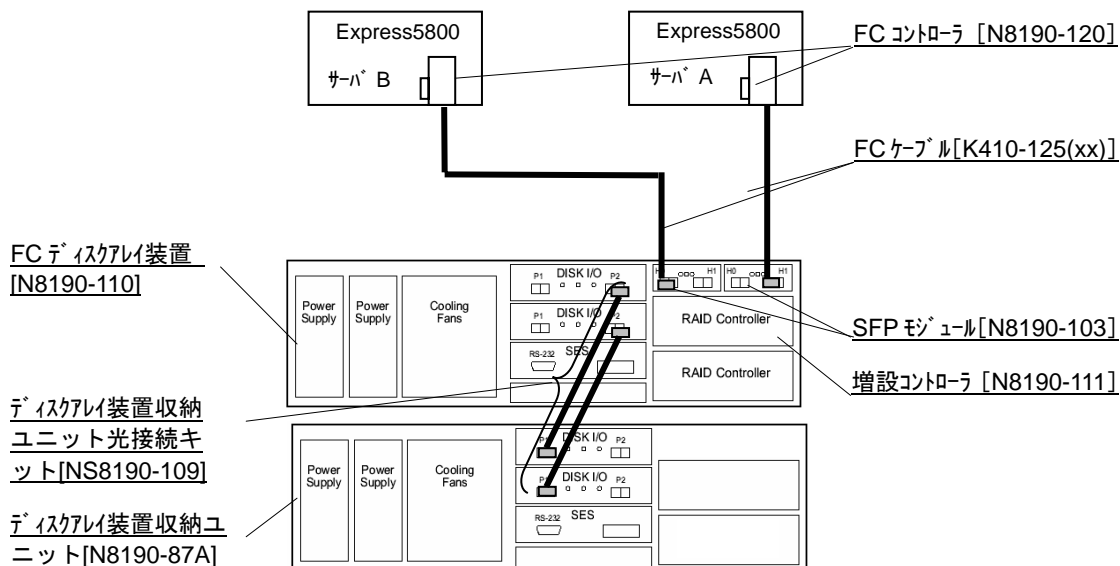
- * [N8190-87A]を 1 台増設可能。増設時は[NS8190-109]を 1 式手配すること。
- * クラスタを構築する際は別途 CLUSTERPRO を購入すること。(MSCS サポート時期は別途)

<特徴>

- ・ RAID/Fibre Channel コントローラの故障に対する冗長性が無い。

構成 2-2

2004 年 03 月出荷分より、クラスタ構成が標準サポートとなりました。



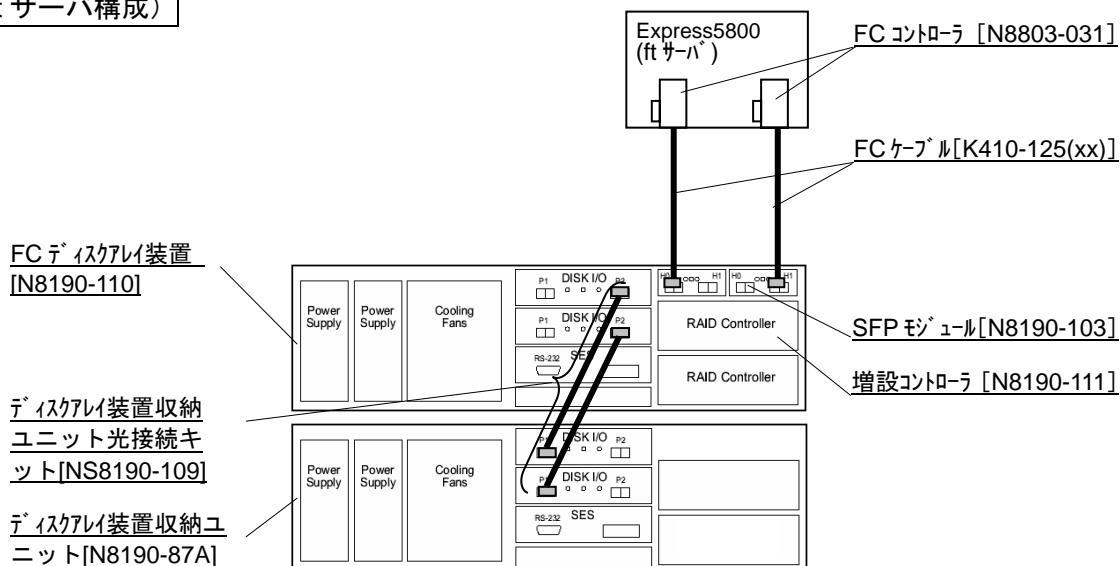
- * [N8190-87A]を 1 台増設可能。増設時は[NS8190-109]を一式手配すること。
- * Fibre Channel ディスクアレイ装置用増設コントローラ[N8190-111]の購入が必要となります。
 これにより RAID コントローラ故障時のフェイルオーバー/フェイルバックが可能。
- * クラスタを構築する際は別途 CLUSTERPRO を購入すること。(MSCS サポート時期は別途)

<特徴>

- ・ RAID コントローラの故障に対する冗長性が有る。

Fibre Channel ディスクアレイ装置
SATA ディスクアレイ装置
ディスクアレイ装置(ST12300)

構成 3 (ft サーバ構成)



- * [N8190-87A]を1台増設可能。増設時は[NS8190-109]を一式手配すること。
- * Fibre Channel ディスクアレイ装置用増設コントローラ[N8190-111]の購入が必要となります。
これにより RAID コントローラ故障時のフェイルオーバー/フェイルバックが可能。
- * FC コントローラが 100 シリーズ向けと異なるので手配ミスに注意 ([N8803-031])
- * Windows 2003 の場合別途パス二重化ソフトが必要。

<特徴>

- ・ RAID コントローラの故障に対する冗長性が有る。
- ・ FC パスの冗長性がある

■FC アレイ装置の構成毎の特徴

	構成	増設RAID コントローラ (N8190-111) 接続要否	稼動中のHOT SWAP			障害耐力					
			DISK	電源	RAID コントローラ	FC コントローラ	RAID コントローラ	DISK	FCループ	電源	サーバ
構成 1-1	単体サーバ	×	○	○	×	×	×	○	×	○	×
構成 1-2	単体サーバ	○	○	○	○	×	○	○	×	○	×
構成 2-1	クラスタ	×	○	○	×	○*1	×	○	○*1	○	○
構成 2-2	クラスタ	○	○	○	○	○*1	○	○	○*1	○	○
構成3	f t	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×

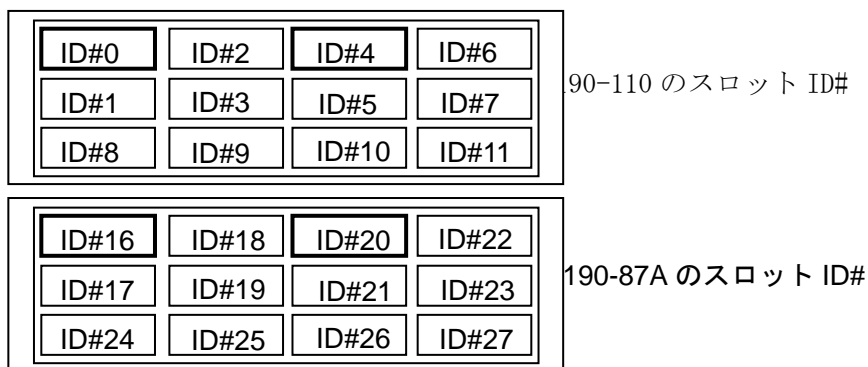
*1 故障した系のサーバへのアクセスは途絶えますがクラスタフェイルオーバにより業務の継続が可能であることを示します。

※ ハードディスクの実装位置と推奨する RAID 構成について

- 本ディスクアレイ装置は ID#0 及び ID#4 に実装されているハードディスクを介してホストとなる Express サーバとの通信を行います。正常に動作させるためには ID#0 及び ID#4 の少なくとも一方にハードディスクが実装されている必要があります。

保守交換時等でも、この条件を満たせるよう、必ず ID#0、ID#4 両方にハードディスクが搭載された構成にしてください。

ディスクアレイ装置収納ユニットを増設する場合は、同様に ID#16、ID#20 両方にハードディスクが搭載された構成にしてください。



- ハードディスクを搭載する際は、下記の ID 順に実装してください。
- RAID は ID に関係なく組むことができます。

ID#0 → ID#4 → ID#1 → ID#2 → ID#3 → ID#5 → ID#6 → ID#7 → ID#8 → ID#9 → ID#10 → ID#11

ID#16 → ID#20 → ID#17 → ID#18 → ID#19 → ID#21 → ID#22 → ID#23 → ID#24 → ID#25 → ID#26 → ID#27



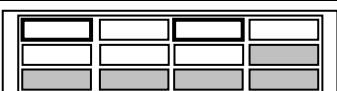
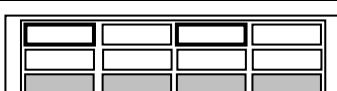
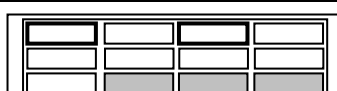

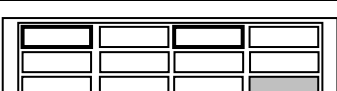
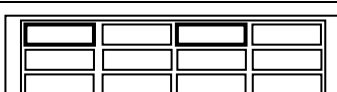
Fibre Channel ディスクアレイ装置
SATA ディスクアレイ装置
ディスクアレイ装置(ST12300)

- ・ 同一パック内のハードディスクはすべて同一容量にすること。
- ・ 異なるディスク回転数を混在して実装することは不可。
- ・ RAID5 の場合、1 パックはディスク 5 台以内で構成することを推奨。
- ・ Fibre Channel ディスクアレイ装置内の最大パック数は 6 個です。尚、パックを構成できる最大ディスク数は 12 台(推奨 5 台以下)、最大 LUN 数は 32 個です。
- ・ Fibre Channel ディスクアレイ装置及びディスクアレイ装置収納ユニット内の故障したディスクを交換する場合は、必ずホットスワップで行ってください。また、この際、ID#0 と ID#4 及び ID#16 と ID#20 を同時に取り外さないでください。
- ・ スペアディスクの数に制限はありません。Global Spare で複数台設定した場合は、作成した順番に使用されていきます。(スペアディスクは、パック毎に専用のスペアディスクを設定することも、全パック対象のスペアディスクを設定することもできます。)また、スペアディスクの実装位置に制限はありません。
- ・ スペアディスクとして増設用 HDD を増設する場合、実装されているディスク容量より大きなものか同容量のものを使用のこと。
- ・ スペアディスクの動き
 - 1 台のディスクが故障した場合、スペアディスクが定義されていれば他のディスクから故障したディスクのデータがスペアディスクに復元されます。
 - 故障したディスクが置き換えられた場合、自動でスペアディスクに設定されません。手動で設定を行ってください。
 - スペアディスクで運用中にさらにディスクが故障した場合、縮退運転になります。
 - ディスクアレイ装置のみにスペアディスクを実装時、ディスクアレイ装置収納ユニット内のディスクが故障した場合、ディスクアレイ装置内のスペアディスクに故障したディスクのデータが復元されます。

4.ハードディスク台数と推奨する RAID 構成

■FibreChannel ディスクアレイ

□ : 実装 ■ : 空き

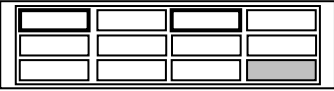
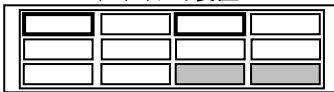
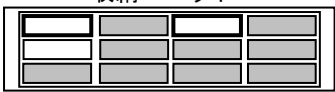
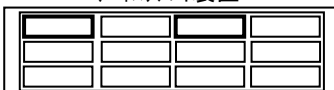
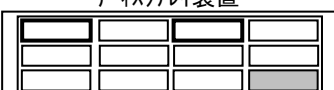
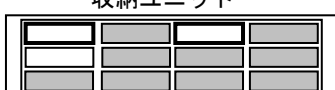
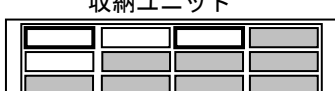
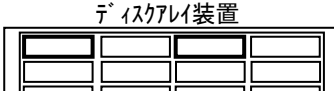
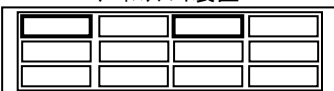
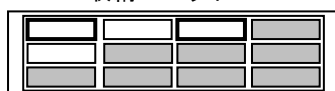
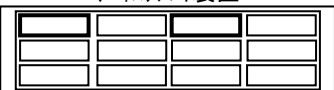
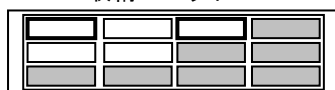
ディスク数	RAID レベル	構成	実装スロット
5	1	(D+P), (D+P), S	ID#0 ~ID#4 
	5	(3D+P), S / (4D+P)	
6	1	(D+P), (D+P), (D+P)	ID#0 ~ID#5 
	5	(4D+P), S	
7	1	(D+P), (D+P), (D+P), S	ID#0 ~ID#6 
	5	(2D+P), (2D+P), S / (3D+P), (2D+P)	
8	1	(D+P), (D+P), (D+P), (D+P)	ID#0 ~ID#7 
	5	(2D+P), (3D+P), S / (3D+P), (3D+P)	
9	1	(D+P), (D+P), (D+P), (D+P), S	ID#0 ~ID#8 
	5	(3D+P), (3D+P), S / (4D+P), (3D+P)	
10	1	(D+P), (D+P), (D+P), (D+P), (D+P)	ID#0 ~ID#9 
	5	(3D+P), (4D+P), S / (4D+P), (4D+P)	
11	1	(D+P), (D+P), (D+P), (D+P), (D+P), S	ID#0 ~ID#10 
	5	(4D+P), (4D+P), S	
12	1	(D+P), (D+P), (D+P), (D+P), (D+P), (D+P)	ID#0 ~ID#11 
	5	(3D+P), (3D+P), (2D+P), S / (3D+P), (3D+P), (3D+P)	

(D : データ、P : パリティ、S : スペア)




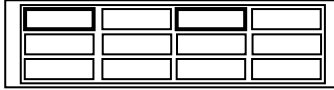
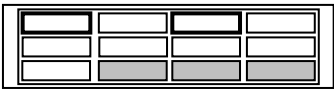
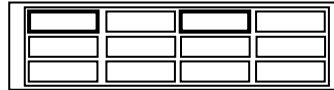
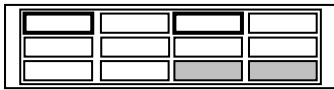
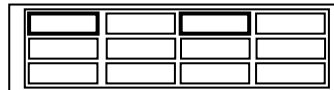
Fibre Channel ディスクアレイ装置
SATA ディスクアレイ装置
ディスクアレイ装置(ST12300)

■FibreChannel ディスクアレイ装置収納ユニット接続時

□ : 実装 ■ : 空き

ディスク台数	RAIDレベル	構成	
13	1	(D+P),(D+P),(D+P),(D+P),(D+P),S	(D+P)
	実装 スロット	ID#0 ~ID#10 ディスクアレイ装置 	ID#16,20 収納ユニット 
	5	(3D+P),(4D+P),S/(4D+P), (4D+P)	(2D+P)
	実装 スロット	ID#0 ~ID#9 ディスクアレイ装置 	ID#16,17 ID#20 収納ユニット 
14	1	(D+P),(D+P),(D+P),(D+P),(D+P), (D+P)	(D+P)
	実装 スロット	ID#0 ~ID#11 ディスクアレイ装置 	ID#16,20 収納ユニット 
	5	(4D+P),(4D+P),S/(3D+P),(3D+P),(2D+P)	(2D+P)
	実装 スロット	ID#0 ~ID#10 ディスクアレイ装置 	ID#16,17 ID#20 収納ユニット 
15	1	(D+P),(D+P),(D+P),(D+P),(D+P), S	(D+P), (D+P)
	実装 スロット	ID#0 ~ID#10 ディスクアレイ装置 	ID#16 ~ID#18 ID#20 収納ユニット 
	5	(3D+P),(3D+P),(2D+P),S/(3D+P),(3D+P),(3D+P)	(2D+P)
	実装 スロット	ID#0 ~ID#11 ディスクアレイ装置 	ID#16,17 ID#20 収納ユニット 
16	1	(D+P),(D+P),(D+P),(D+P),(D+P), (D+P)	(D+P), (D+P)
	5	(3D+P),(3D+P),(2D+P),S/(3D+P),(3D+P),(3D+P)	(3D+P)
	実装 スロット	ID#0 ~ID#11 ディスクアレイ装置 	ID#16 ~ID#18 ID#20 収納ユニット 
17	1	(D+P),(D+P),(D+P),(D+P),(D+P), (D+P)	(D+P), (D+P),S
	5	(3D+P),(3D+P),(2D+P),S/(3D+P),(3D+P),(3D+P)	(3D+P),S / (4D+P)
	実装 スロット	ID#0 ~ID#11 ディスクアレイ装置 	ID#16 ~ID#20 収納ユニット 

Fibre Channel ディスクアレイ装置
SATA ディスクアレイ装置
ディスクアレイ装置(ST12300)

ディスク台数	RAIDレベル	構成	
18	1	(D+P),(D+P),(D+P),(D+P),(D+P), (D+P)	(D+P), (D+P), (D+P)
	5	(3D+P),(3D+P),(2D+P),S/(3D+P),(3D+P),(3D+P)	(4D+P),S
	実装 スロット	ID#0 ~ID#11 	ID#16 ~ID#21 
19	1	(D+P),(D+P),(D+P),(D+P),(D+P), (D+P)	(D+P), (D+P), (D+P),S
	5	(3D+P),(3D+P),(2D+P),S/(3D+P),(3D+P),(3D+P)	(2D+P), (2D+P),S/(3D+P), (2D+P)
	実装 スロット	ID#0 ~ID#11 	ID#16 ~ID#22 
20	1	(D+P),(D+P),(D+P),(D+P),(D+P), (D+P)	(D+P), (D+P), (D+P), (D+P)
	5	(3D+P),(3D+P),(2D+P),S/(3D+P),(3D+P),(3D+P)	(2D+P),(3D+P),S/(3D+P), (3D+P)
	実装 スロット	ID#0 ~ID#11 	ID#16 ~ID#23 
21	1	(D+P),(D+P),(D+P),(D+P),(D+P), (D+P)	(D+P),(D+P),(D+P),(D+P),S
	5	(3D+P),(3D+P),(2D+P),S/(3D+P),(3D+P),(3D+P)	(3D+P),(3D+P),S/(4D+P),(3D+P)
	実装 スロット	ID#0 ~ID#11 	ID#16 ~ID#24 
22	1	(D+P),(D+P),(D+P),(D+P),(D+P), (D+P)	(D+P),(D+P),(D+P),(D+P),(D+P)
	5	(3D+P),(3D+P),(2D+P),S/(3D+P),(3D+P),(3D+P)	(3D+P),(4D+P),S/(4D+P), (4D+P)
	実装 スロット	ID#0 ~ID#11 	ID#16 ~ID#25 
23	1	(D+P),(D+P),(D+P),(D+P),(D+P), (D+P)	(D+P),(D+P),(D+P),(D+P),(D+P),S
	5	(3D+P),(3D+P),(2D+P),S/(3D+P),(3D+P),(3D+P)	(4D+P),(4D+P),S/(3D+P),(3D+P),(2D+P)
	実装 スロット	ID#0 ~ID#11 	ID#16 ~ID#26 
24	1	(D+P),(D+P),(D+P),(D+P),(D+P), (D+P)	(D+P),(D+P),(D+P),(D+P),(D+P), (D+P)
	5	(3D+P),(3D+P),(2D+P),S/(3D+P),(3D+P),(3D+P)	(3D+P),(3D+P),(2D+P),S/(3D+P),(3D+P),(3D+P)
	実装 スロット	ID#0 ~ID#11 	ID#16 ~ID#27 

5.Fibre Channel ディスクアレイ装置管理用ソフト

Fibre Channel ディスクアレイ装置を管理及び監視するためのソフトウェアです。

製品名	StorView	
購入単位	別途購入不要(Fibre Channel ディスクアレイ装置添付)	
マニュアル	インストールマニュアル (Fibre Channel ディスクアレイ装置添付) オペレーションマニュアル(Fibre Channel ディスクアレイ装置添付媒体にオンラインマニュアルとして格納)	
動作環境	対象	Fibre Channel ディスクアレイ装置 [N8190-110]
	対応 OS	Windows2000 SP3 以降 Windows2003
	メモリ	StorView を動作させる場合は OS の動作に必要なメモリ + 4 MB 以上必要。 (OS の動作に必要なメモリ + 64MB 以上を推奨)
	ディスク容量	60MB 以上(インストール時はさらに 16MB 以上のディスク空き容量が必要)

6.Fibre Channel ディスクアレイ関連製品のサポート OS

		Windows 2000					Windows 2003		2003 x64 Editions
Service Pack バージョン		無(*1)	1	2	3	4	無(*1)	1	1
Fiber Channel ディスクアレイ装置(ラックマウント型)									
N8190-110	Fibre Channel ディスクアレイ装置	×	×	×	○	○	○	○	×
Fiber Channel ディスクアレイ装置収納ユニット(ラックマウント型)									
N8190-87A	Fibre Channel ディスクアレイ装置収納ユニット	×	×	×	○	○	○	○	×
Fibre Channel ディスクアレイ増設用ディスク									
N8190-116	増設用 36.3GB HDD	*2	*2	*2	*2	*2	*2	*2	*2
N8190-115	増設用 73.2GB HDD	*2	*2	*2	*2	*2	*2	*2	*2
N8190-117	増設用 73.2GB HDD	*2	*2	*2	*2	*2	*2	*2	*2
N8190-118	増設用 146.5GB HDD	*2	*2	*2	*2	*2	*2	*2	*2

(注意)

(*1) Service Pack がインストールされていない OS 環境。

(*2) 接続するディスクアレイ装置と同等の扱い。

(*3) Fibre Channel ディスクアレイ装置には当該装置が対応する OS 上で動作するソフトが標準添付。

SATA ディスクアレイ装置

1.概要

- Ultra320 SCSI に対応するホストインターフェース。
- 256MB キャッシュメモリを搭載。
- ホットスワップ機能による HDD 縮退期間の最小化を実現。
- HDD、電源*1、ファンのホットスワップをサポート。
- RAID6 をサポート(N8190-128)*3

SATA ディスクアレイ装置の本体、増設できる HDD などは以下の表を参照。

型名	製品名	備考
SATA ディスクアレイ装置(ラックマウント型)		
N8190-128	SATA ディスクアレイ装置	標準搭載 HDD なし、増設用 HDD を最大 12 台まで追加搭載可能 高さ：2U 電源ユニットは標準で 1 台、オプションでもう 1 台増設可能
N8190-122	電源ユニット	N8190-121/128 用の冗長用電源
SATA ディスクアレイ増設用ディスク		
N8190-124	増設用 250GB HDD	N8190-121/128 用 回転数：7200rpm
N8190-129	増設用 400GB HDD	N8190-128 用 回転数：7200rpm
N8190-130	増設用 500GB HDD	N8190-128 用 回転数：7200rpm
SCSI コントローラ *2		
N8190-126	SCSI コントローラ	N8190-121/128 を接続する基本処理装置に実装
Fibre Channel ディスクアレイ装置管理用ソフト		
	StorView	N8190-121/128 用。(N8190-121/128 に標準添付)
N8190-104	ディスクアレイ装置用専用ラック	ディスクアレイ装置または収納ユニットを縦置きに設置可能な 19 インチラック N8190-121/128 をあわせて 2 台まで実装可

*1) オプションの電源ユニット[N8190-122]の増設が必要です

*2) SCSI コントローラに関しては「周辺機器仕様 SCSI コントローラ」に記載。

*3) この RAID6 は、TANDBERG DATA 社よりライセンスされた RAIDⁿ(TM)技術を使用しています。
RAIDⁿ は、ノルウェー、TANDBERG DATA 社の登録商標です。

2.機能仕様

■SATA ディスクアレイ装置

型名	N8190-128	
製品名	SATA ディスクアレイ装置	
容量	標準	未実装
	最大 *1)	6000GB *1) (500GB HDD×12 台)
	増設ディスク	N8190-124/129
RAID レベル	RAID1、5、6*4	
キャッシュ容量	256MB(256MB×1 枚)	
Write Cache 機能	標準 HW 構成で利用可能 *2)	
コントローラの信頼性	シングル RAID コントローラ構成 (コントローラの増設は不可)	
インターフェース	Ultra320 SCSI × 2 Port	
ファンの信頼性	冗長ファン標準搭載(ホットスワップ可)	
電源の信頼性	冗長電源増設可能、増設時はホットスワップ可能	
環境条件	温度	10~35°C
	湿度	20~80%
電源仕様	入力電圧	AC100V±10%
	入力電流	4A
	周波数	50/60 Hz ±3Hz
	最大皮相電力	400VA 以下
	最大有効電力	380W 以下
	突入電流	33A _{0-P} 以下
	バッテリー保持時間	最大 25 時間
外形寸法	幅(W)	483 mm
	高さ(H)	88 mm(2qU)
	奥行(D)	595 mm(フロントベゼル含む)
装置形状	ラックマウント 2U *3)	
最大質量	30 kg	
AC コンセント	形状	平行 2 極アース付き
	個数	標準で 1 個 (電源ユニット増設時は合計 2 個)
発熱量	1368KJ/H	
装置寿命	本体	5 年
	ディスク	3 年または 20000 稼働時間のいずれか早い到達時
	ファン	30000 稼働時間
	電源	5 年
	コントローラ	5 年
	バッテリー	2 年

*1) 作成できるロジカルドライブの最大容量は WindowsOS では 2 TB、LinuxOS では 1 TB です。

(アレイの最大容量に制限はございません)

*2) Write Cache を Enable で使用している場合、コントローラ故障時はコントローラ内のキャッシュデータは失われます。

*3) ディスクアレイ装置用専用ラック [N8190-104] に搭載し据え置き可能。

*4) この RAID6 は、TANDBERG DATA 社よりライセンスされた RAID[®](TM) 技術を使用しています。RAID[®] は、ノルウェー、TANDBERG DATA 社の登録商標です。

(注意)

- ※ 対応する SCSI コントローラは N8190-126 のみ。
- ※ 1 台の N8190-126 SCSI コントローラには最大 1 台の N8190-128 SATA ディスクアレイ装置を接続可能。
- ※ サーバ 1 台あたり N8190-128 SATA ディスクアレイ装置を最大 2 台まで接続可能(単体サーバに接続の場合)。クラスタの共有ディスクとして使用する場合は 1 台まで。
- ※ ディスクは SATA (IDE と同等) ですので、本アレイ装置の採用を検討する際には、構築するシステムに求められる信頼性を十分考慮してください。
- ※ 1 つのシステムで接続可能なディスクアレイ装置は、SATA ディスクアレイ装置または、Fibre Channel ディスクアレイ装置のいずれか一方のみ。
- ※ SATA ディスクアレイ装置に OS をインストールしての起動は不可。データ用の領域としてのみ使用可能。
- ※ バッテリーは寿命が短いため、寿命時期がきたら有償保守部品による交換を推奨。
- ※ バッテリーでバックアップされるのはキャッシュメモリのみ。

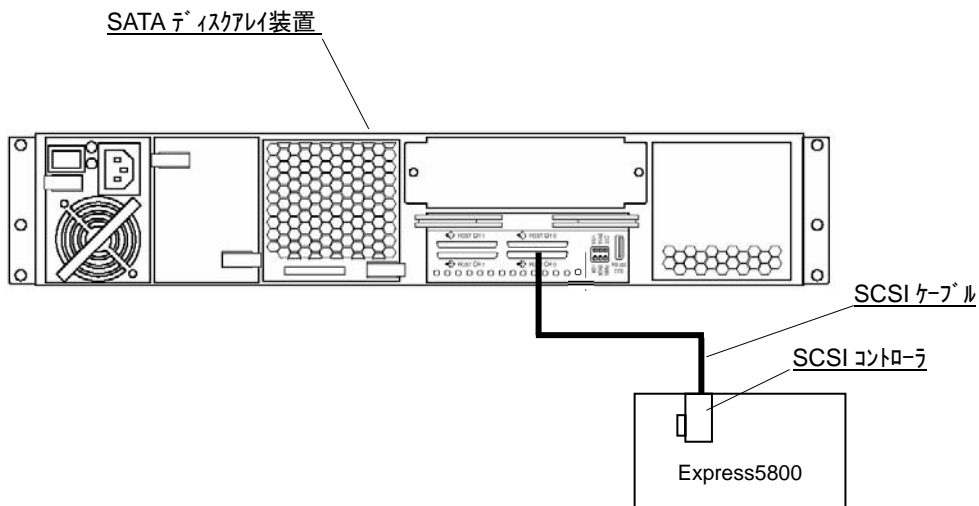
3.接続構成について

接続形態	障害発生時の運用継続の可否			価格比較
	SCSI コントローラ 故障時	RAID コントローラ 故障時	SCSI バス 障害時	
単体サーバ	×	×	×	安価 高価
クラスタ	○ (注 1)	×	×	

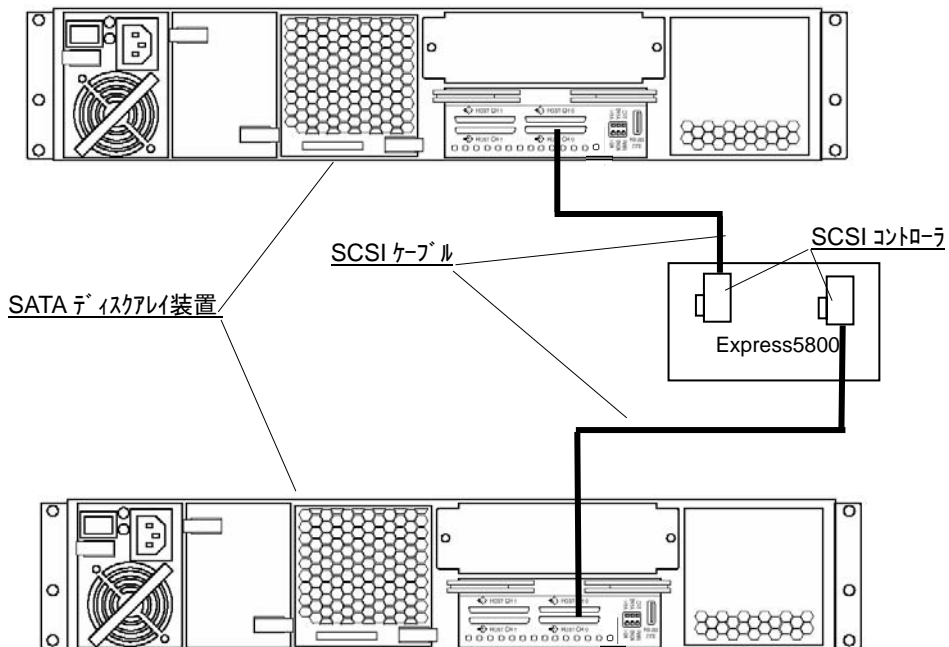
注 1 : 故障したサーバからの運用は停止するが、クラスタシステム機能により正常なサーバに業務が移り運用継続が可能。

■単体サーバ接続

SCSI コントローラを 1 台実装したサーバ 1 台を接続します。



また、以下の図のように 1 台のサーバに SCSI コントローラを 2 枚実装し、2 台の SATA ディスクアレイ装置をサーバに接続することもできます。



— 特徴 —

<長所>

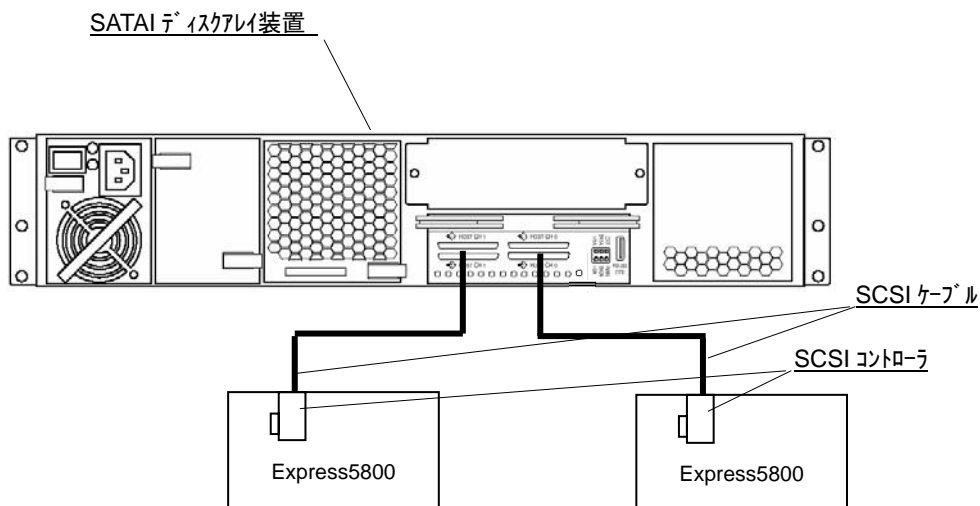
- ・シンプルで安価なシステムの構築が可能。

<短所>

- ・SCSI コントローラや RAID コントローラの故障および SCSI ケーブルの断線に対する冗長性が無い。

■ クラスタ構成接続

SCSI コントローラを 1 台実装したサーバ 2 台を接続します。



— 特徴 —

<長所>

- ・最もシンプルで安価なクラスタシステムの構築が可能。

<短所>

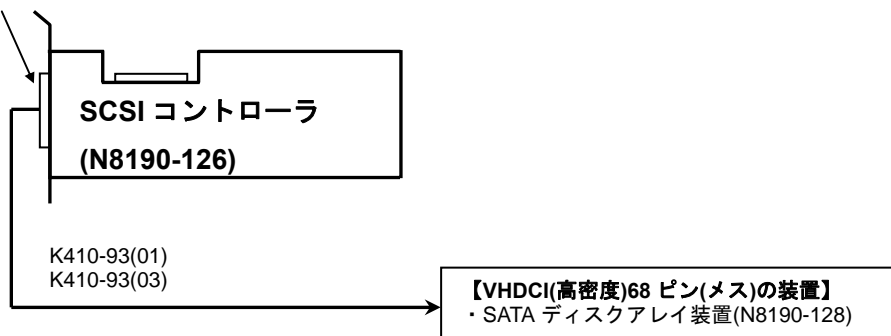
- ・RAID コントローラの故障に対して冗長性が無い。
- ・SCSI コントローラの故障や SCSI バスの遮断時、障害が発生したサーバからの運用が停止する。但し、クラスタシステム機能により正常なサーバに業務が移り運用継続は可能。

<その他>

- ・「CLUSTERPRO」などのクラスタシステム用のソフトウェアが必要。


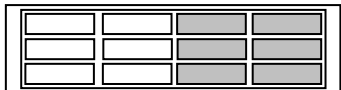
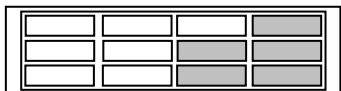
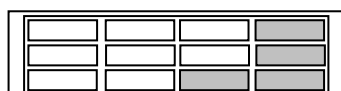
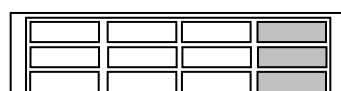

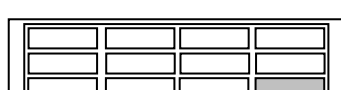
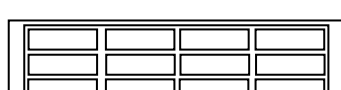
■SCSI コントローラ接続図

外部用コネクタ



4.ハードディスク台数と推奨する RAID 構成

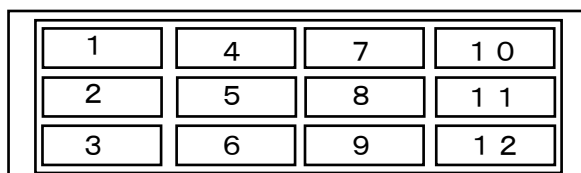
■SATA ディスクアレイ

ディスク数	RAID Level	Configuration	Install Slot
5	1	(D+P), (D+P), S	slot #1 ~#5 
	5	(3D+P), S / (4D+P)	
	6	(3D+P+Q)	
6	1	(D+P), (D+P), (D+P)	slot #1 ~ #6 
	5	(4D+P), S	
	6	(4D+P+Q)	
7	1	(D+P), (D+P), (D+P), S	slot #1 ~ #7 
	5	(2D+P), (2D+P), S / (3D+P), (2D+P)	
	6	-	
8	1	(D+P), (D+P), (D+P), (D+P)	slot #1 ~#8 
	5	(2D+P), (3D+P), S / (3D+P), (3D+P)	
	6	(2D+P+Q) (2D+P+Q)	
9	1	(D+P), (D+P), (D+P), (D+P), S	slot #1 ~ #9 
	5	(3D+P), (3D+P), S / (4D+P), (3D+P)	
	6	(3D+P+Q) (2D+P+Q)	
10	1	(D+P), (D+P), (D+P), (D+P), (D+P)	slot #1 ~ #10 
	5	(3D+P), (4D+P), S / (4D+P), (4D+P)	
	6	(3D+P+Q) (3D+P+Q)	
11	1	(D+P), (D+P), (D+P), (D+P), (D+P), S	slot #1 ~#11 
	5	(4D+P), (4D+P), S	
	6	(4D+P+Q) (3D+P+Q)	
12	1	(D+P), (D+P), (D+P), (D+P), (D+P), (D+P)	slot #1 ~#12 
	5	(3D+P), (3D+P), (2D+P), S / (3D+P), (3D+P), (3D+P)	
	6	(4D+P+Q) (4D+P+Q)/ (2D+P+Q) (2D+P+Q)	

(D : データ、P : パリティ、S : スペア、Q:セカンドパリティ)

* Rebuild 時の Rebuild 失敗防止や Rebuild 時間の短縮のため、パックスの最大ディスク数は5台以内にすることを推奨します

* RAID6 の場合でもスタンバイディスクを設定することができますが、パリティが2台存在することで、(まったく同じではありませんが) ある程度スタンバイディスクを設定した場合と同等の冗長性を確保できているという考え方ののっとり、積極的なスタンバイディスクの設定を勧めていません。理由は経済的な面(価格/効果)、および、過信による放置に対する懸念です。RAID6 の場合は1台 DEAD した時点で保守にて交換を促すように推奨しています。



■SATA ディスクアレイ装置用増設用 HDD

型名		N8190-124	N8190-129
製品名		増設用 250GB HDD	増設用 400GB HDD
容量		250GB	400GB
平均シークタイム(ms)	Read	9.1	9.1
	Write	9.3	9.3
回転速度		7200rpm	7200rpm
平均回転待ち時間(ms)		4.17	4.17
最大データ転送速度(MB/s)	同期	150MB/ s	150MB/ s
インタフェース		Serial ATA	Serial ATA
形状		1"ハイト(トレイ付)	1"ハイト(トレイ付)

型名		N8190-130
製品名		増設用 500GB HDD
容量		250GB
平均シークタイム(ms)	Read	19.5
	Write	20.5
回転速度		7200rpm
平均回転待ち時間(ms)		4.17
最大データ転送速度(MB/s)	同期	150MB/ s
インタフェース		Serial ATA
形状		1"ハイト(トレイ付)

(注意)

- アレイ装置内に実装するディスクは、同容量のものを実装してください。

■ディスクアレイ装置専用ラック

型名		N8190-104
製品名	ディスクアレイ装置用専用ラック	
標準添付品	19"ラックフレーム、 フロントドア、サイドパネル スタビライザ	
接続対象	N8190-110/N8190-87A/N8190-121/128 ディスクアレイ装置または収納ユニット(2U)を 2 台まで 実装可	

5.SATA ディスクアレイ装置管理用ソフト

SATA ディスクアレイ装置を管理及び監視するためのソフトウェアです。

製品名	StorView		
購入単位	別途購入不要(SATA ディスクアレイ装置添付)		
マニュアル	インストレーションマニュアル (SATA ディスクアレイ装置添付) オペレーションマニュアル(SATA ディスクアレイ装置添付媒体にオンラインマニュアルとして格納)		
動作環境	対象	SATA ディスクアレイ装置 [N8190-121/128]	
	対応 OS	Windows2000 SP3 以降 Windows2003 Linux	
	メモリ	StorView を動作させる場合は OS の動作に必要なメモリ + 4 MB 以上必要。 (OS の動作に必要なメモリ + 64MB 以上を推奨)	
	ディスク容量	60MB 以上(インストール時はさらに 16MB 以上のディスク空き容量が必要)	

6.SATA ディスクアレイ関連製品のサポート OS

		Windows 2000				Windows 2003		2003 x64 Editions	
Service Pack バージョン		無(*1)	1	2	3	4	無(*1)	1	1
SATA ディスクアレイ装置(ラックマウント型)									
N8190-128	SATA ディスクアレイ装置	×	×	×	○	○	○	○	○
N8190-122	増設電源ユニット	*2	*2	*2	*2	*2	*2	*2	*2
SATA ディスクアレイ増設用ディスク									
N8190-124	増設用 250GB HDD	*2	*2	*2	*2	*2	*2	*2	*2
N8190-129	増設用 400GB HDD	*2	*2	*2	*2	*2	*2	*2	*2
N8190-130	増設用 500GB HDD	*2	*2	*2	*2	*2	*2	*2	*2

Linux のサポート状況に関しては 8 番街の「Linux 動作確認情報」のページを参照願います。

<http://www.express.nec.co.jp/linux/tech/confirm/hba.html>

(注意)

(*1) Service Pack がインストールされていない OS 環境。

(*2) 接続するディスクアレイ装置と同等の扱い。

ディスクアレイ装置 (ST12300)

1.概要

- SAS に対応するホストインターフェース。
- 1 コントローラ毎に 512MB キャッシュメモリを搭載。
- ホットスワップ機能による HDD 縮退期間の最小化を実現。
- HDD、電源、ファン、コントローラ(N8190-137 に N8190-138 実装時) のホットスワップをサポート。
- RAID6*1 をサポート

ディスクアレイ装置(ST12300 SATA-HDD モデル)の本体、増設できる HDD などは以下の表を参照。

型名	製品名	備考
ディスクアレイ装置(ST12300 SATA-HDD モデル)		
N8190-132	ディスクアレイ装置 (ST12300 SATA-HDD モデル)	標準搭載 HDD なし、増設用 HDD を最大 12 台まで追加 搭載可能 高さ：2U 電源ユニットは標準で 2 台
ディスクアレイ(ST12300 SATA-HDD モデル)増設用ディスク		
N8190-133	増設用 250GB HDD	N8190-132 用 SATA ディスク 回転数：7200rpm
N8190-134	増設用 500GB HDD	N8190-132 用 SATA ディスク 回転数：7200rpm
SAS コントローラ *2		
N8103-104	SAS コントローラ	N8190-132/-137 を接続する基本処理装置に実装
ディスクアレイ装置管理用ソフト		
	StorView	N8190-132/-137 用。(N8190-132/-137 に標準添付)

*1) この RAID6 は、TANDBERG DATA 社よりライセンスされた RAIDⁿ(TM)技術を使用しています。

RAIDⁿ は、ノルウェー、TANDBERG DATA 社の登録商標です。

*2) SAS コントローラに関しては「周辺機器仕様 SCSI コントローラ/SAS コントローラ」に記載。

Fibre Channel ディスクアレイ装置
SATA ディスクアレイ装置
ディスクアレイ装置(ST12300)

ディスクアレイ装置(ST12300 SAS-HDD モデル)の本体、増設できる HDD などは以下の表を参照。

型名	製品名	備考
ディスクアレイ装置(ST12300 SAS-HDD モデル)		
N8190-137	ディスクアレイ装置 (ST12300 SAS-HDD モデル)	標準搭載 HDD なし、増設用 HDD を最大 12 台まで追加 搭載可能 高さ：2U 電源ユニットは標準で 2 台
ディスクアレイ(ST12300 SAS-HDD モデル)増設用ディスク		
N8190-139	増設用 146GB HDD	N8190-137 用 SAS ディスク 回転数：15,000rpm
N8190-140	増設用 300GB HDD	N8190-137 用 SAS ディスク 回転数 15,000rpm
ディスクアレイ装置(ST12300 SAS-HDD モデル)増設コントローラ		
N8190-138	ディスクアレイ装置用増設コントローラ	N8190-137 に実装して、コントローラを冗長構成にする
SAS コントローラ *1		
N8103-104	SAS コントローラ	N8190-132/-137 を接続する基本処理装置に実装
ディスクアレイ装置管理用ソフト		
	StorView	N8190-132/-137 用。(N8190-132/-137 に標準添付)

*1) SAS コントローラに関しては「周辺機器仕様 SCSI コントローラ/SAS コントローラ」に記載。

2.機能仕様

■ディスクアレイ装置 (ST12300 SATA-HDD モデル)

型名	N8190-132	
製品名	ディスクアレイ装置(ST12300 SATA-HDD モデル)	
容量	標準	未実装
	最大 *1)	6000GB *1) (500GB HDD×12 台)
	増設ディスク	N8190-133/-134 (4~12 台)
RAID レベル	RAID1、5、6 *2)	
キャッシュ容量	512MB	
Write Cache 機能	標準 HW 構成で利用可能 *3)	
コントローラの信頼性	シングル RAID コントローラ構成 (コントローラの増設は不可)	
インターフェース	SAS (4ch) × 2port	
SAS コネクタ形状	SFF8470	
ファンの信頼性	冗長ファン標準搭載(ホットスワップ可)	
電源の信頼性	冗長電源標準搭載(ホットスワップ可)	
環境条件	温度	10~35℃
	湿度	20~80%
電源仕様	入力電圧	AC100V±10%
	入力電流	4A
	周波数	50/60 Hz ±3Hz
	最大皮相電力	400VA 以下
	最大有効電力	380W 以下
	突入電流	33A _{0-P} 以下
	バッテリー保持時間	最大 72 時間
外形寸法	幅(W)	483 mm
	高さ(H)	88 mm(2qU)
	奥行(D)	577 mm
装置形状	ラックマウント 2U	
最大質量	32 kg	
AC コンセント	形状	平行 2 極アース付き
	個数	標準で 2 個
発熱量	1368KJ/H	
装置寿命	本体	5 年
	ディスク	3 年または 20000 稼働時間のいずれか早い到達時
	ファン	30000 稼働時間
	電源	5 年
	コントローラ	5 年
	バッテリー	3 年

*1) アレイを構成する際に実際に使用できる容量は減少します。

(アレイの最大容量に制限はございません)

*2) この RAID6 は、TANDBERG DATA 社よりライセンスされた RAID[®](TM) 技術を使用しています。 RAID は、ノルウェー、TANDBERG DATA 社の登録商標です。RAID6 を構築可能なハードディスクの数は 6, 12 台となっています。

*3) Write Cache を Enable で使用している場合、コントローラ故障時はコントローラ内のキャッシュデータは失われます。

Fibre Channel ディスクアレイ装置
SATA ディスクアレイ装置
ディスクアレイ装置(ST12300)

型名	N8190-137	
製品名	ディスクアレイ装置(ST12300 SAS-HDD モデル)	
容量	標準	未実装
	最大 *1)	3600GB *1) (300GB HDD×12 台)
	増設ディスク	N8190-139/-140
RAID レベル	RAID1、5、6 *2)	
キャッシュ容量	512MB(1 コントローラ毎)	
Write Cache 機能	標準 HW 構成で利用可能 *3)	
コントローラの信頼性	冗長 RAID コントローラ構成可 *4)	
インタフェース	SAS × 4 Port	
ファンの信頼性	冗長ファン標準搭載(ホットスワップ可)	
電源の信頼性	冗長電源標準搭載(ホットスワップ可)	
環境条件	温度	10~35°C
	湿度	20~80%
電源仕様	入力電圧	AC100V±10%
	入力電流	4.4A
	周波数	50/60 Hz ±3Hz
	最大皮相電力	440VA 以下
	最大有効電力	420W 以下
	突入電流	33A _{0-P} 以下
	バッテリー保持時間	最大 72 時間
外形寸法	幅(W)	483 mm
	高さ(H)	88 mm(2qU)
	奥行(D)	577 mm
装置形状	ラックマウント 2U	
最大質量	32 kg	
AC コンセント	形状	平行 2 極アース付き
	個数	標/準で 2 個
発熱量	1512KJ/H	
装置寿命	本体	5 年
	ディスク	5 年または 25000 稼働時間のいずれか早い到達時
	ファン	30000 稼働時間
	電源	5 年
	コントローラ	5 年
	バッテリー	3 年

Fibre Channel ディスクアレイ装置
SATA ディスクアレイ装置
ディスクアレイ装置(ST12300)

- *1) アレイを構成する際に実際に使用できる容量は減少します。
(アレイの最大容量に制限はございません)
- *2) この RAID6 は、TANDBERG DATA 社よりライセンスされた RAID[®] (TM) 技術を使用しています。RAID[®] は、ノルウェー、TANDBERG DATA 社の登録商標です。RAID6 を構築可能なハードディスクの数は 6, 11, 12 台となっています。
- *3) Write Cache を Enable で使用している場合、コントローラ故障時はコントローラ内のキャッシュデータは失われます。
- *4) ディスクアレイ装置用増設コントローラ [N8190-138] を増設することによりクラスタ構成時のコントローラの冗長化が可能

(注意)

- ※ 対応する SAS コントローラは N8103-104 のみ。
- ※ 1 台の N8103-104 SAS コントローラには、最大 1 台の N8190-132/-137 ディスクアレイ装置 (ST12300) を接続可能。
- ※ サーバ 1 台あたり N8190-132/-137 ディスクアレイ装置(ST12300)を最大 2 台まで接続可能 (単体サーバに接続の場合)。クラスタの共有ディスクとして使用する場合は 1 台まで。
- ※ N8190-132/-137 ディスクアレイ装置(ST12300)を接続したシステムに他の種類のディスクアレイ装置は接続不可。
- ※ ディスクアレイ装置(ST12300)に OS をインストールしての起動は不可。データ用の領域としてのみ使用可能。
- ※ バッテリーは寿命が短いため、寿命時期がきたら有償保守部品による交換が必要。
- ※ バッテリーでバックアップされるのはキャッシュメモリのみ。
- ※ N8190-104 ディスクアレイ装置用専用ラックは使用できません。
- ※ 同一アレイ内のハードディスクはすべて同一容量にすること。また、同一ディスクアレイ装置内に実装するハードディスクは同容量のものにすることを推奨。
- ※ ST12300 で RAID6 を構築可能なハードディスクの数は 6, 12 台のいずれかとなっています。

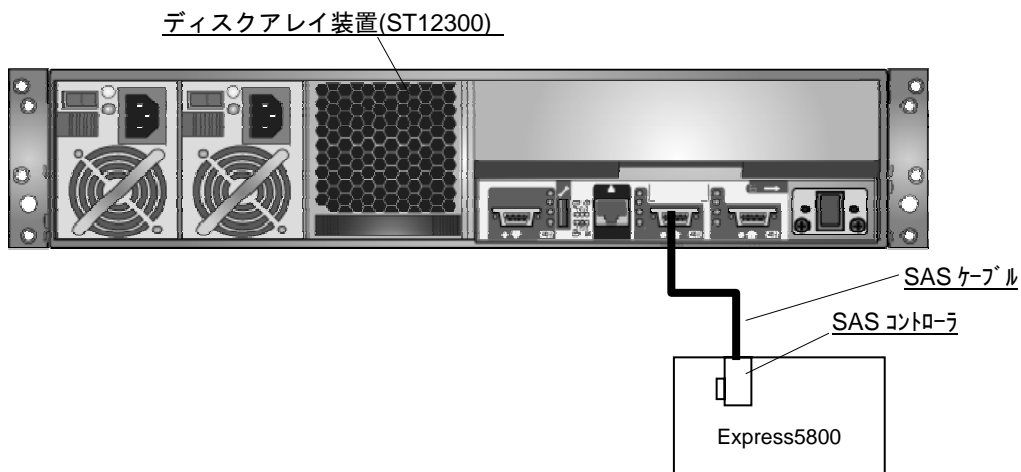
3.接続構成について

接続形態	障害発生時の運用継続の可否		価格比較
	SAS コントローラ 故障時	RAID コントローラ 故障時	
単体サーバ	×	×	安価
クラス クラス	○ (注 1)	×	
(N8190-138 実装時)	○ (注 1)	○ (注 1)	高価

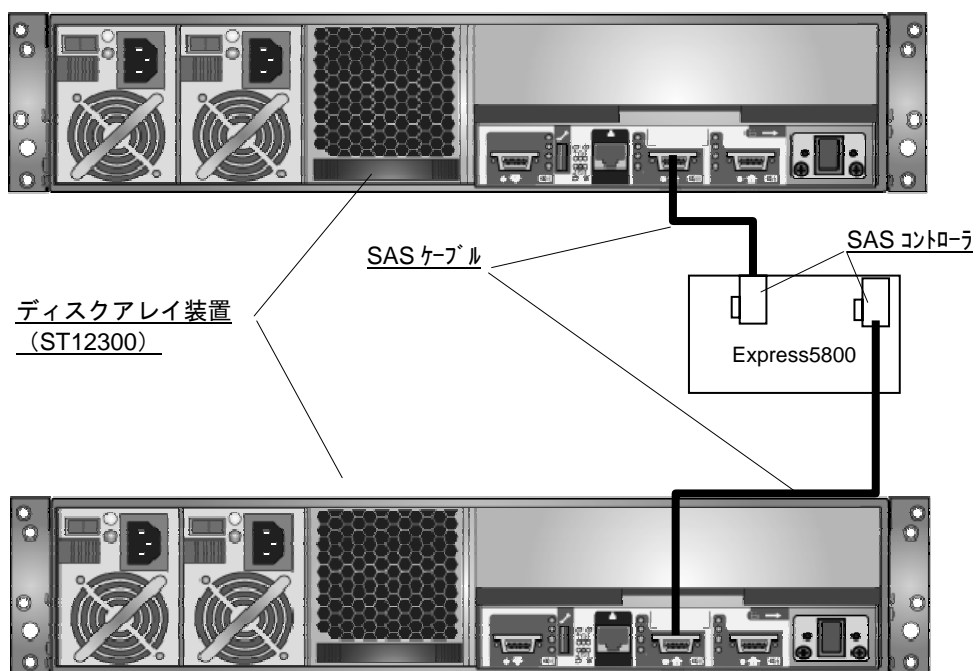
注 1：故障したサーバからの運用は停止するが、クラスタシステム機能により正常なサーバに業務が移り運用継続が可能。

■単体サーバ接続

SAS コントローラを 1 台実装したサーバ 1 台を接続します。



また、以下の図のように 1 台のサーバに SAS コントローラを 2 枚実装し、2 台のディスクアレイ装置(ST12300)をサーバに接続することもできます。



— 特徴 —

<長所>

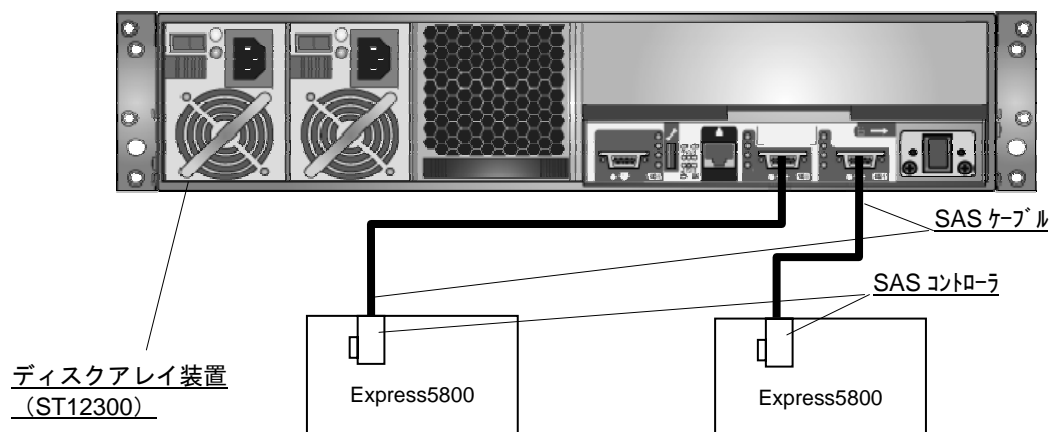
- ・シンプルで安価なシステムの構築が可能。

<短所>

- ・SAS コントローラや RAID コントローラの故障および SAS ケーブルの断線に対する冗長性が無い。

■ クラスタ構成接続

SAS コントローラを 1 台実装したサーバ 2 台を接続します。



— 特徴 —

<長所>

- ・最もシンプルで安価なクラスタシステムの構築が可能。

<短所>

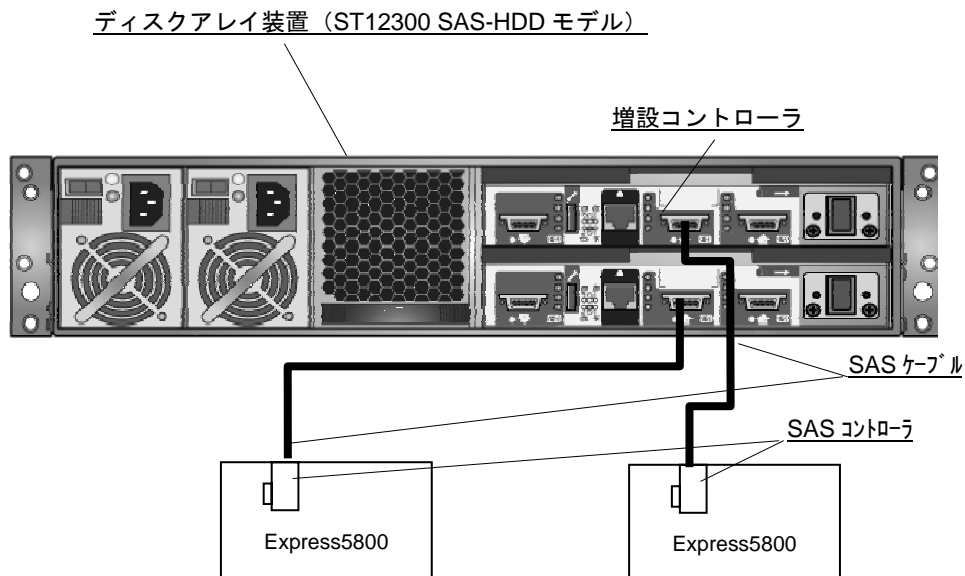
- ・RAID コントローラの故障に対して冗長性が無い。
- ・SAS コントローラの故障や SAS ケーブルの断線時、障害が発生したサーバからの運用が停止する。但し、クラスタシステム機能により正常なサーバに業務が移り運用継続は可能。

<その他>

- ・「CLUSTERPRO」などのクラスタシステム用のソフトウェアが必要。

■コントローラ増設クラスタ構成接続

SAS コントローラを 1 台実装したサーバ 2 台をそれぞれ別のコントローラに接続します。



— 特徴 —

<長所>

- ・比較的安価なクラスタシステムの構築が可能。
- ・RAID コントローラの故障に対しても冗長性がある。

<短所>

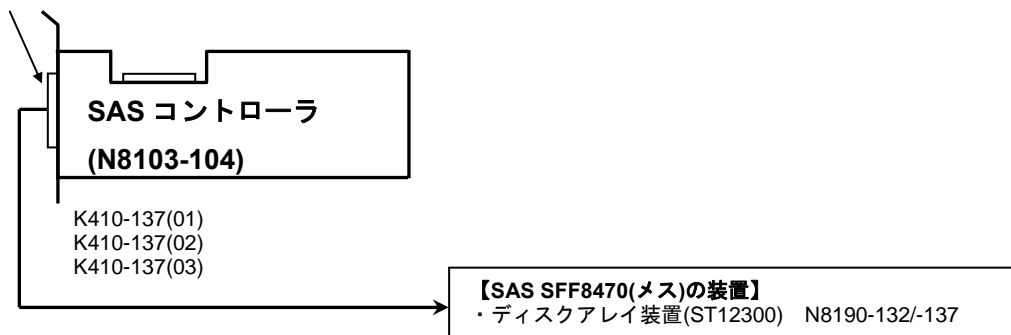
- ・SAS コントローラの故障や SAS ケーブルの断線時、障害が発生したサーバからの運用が停止する。但し、クラスタシステム機能により正常なサーバに業務が移り運用継続は可能。
- ・N8190-132 (ST12300 SATA-HDD モデル) では N8190-138 増設コントローラが使用できないため構築不可。

<その他>

- ・「CLUSTERPRO」などのクラスタシステム用のソフトウェアが必要。

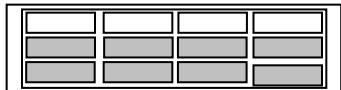

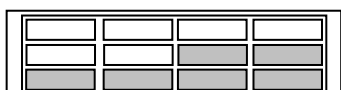
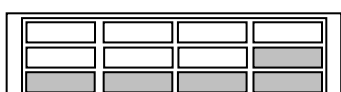

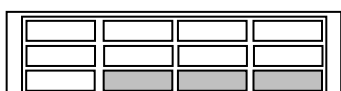
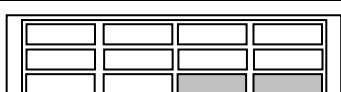
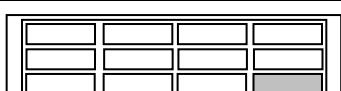
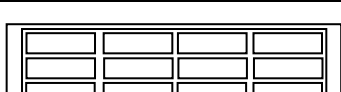
■SAS コントローラ接続図

外部用コネクタ



4.ハードディスク台数と推奨する RAID 構成

■ディスクアレイ装置 (ST12300)

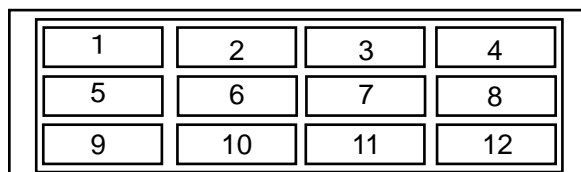
ディスク数	RAID Level	Configuration	Install Slot
4	1	(D+P), (D+P)	slot #1 ~#4 
	5	(3D+P)	
	6	×	
5	1	(D+P), (D+P), S	slot #1 ~#5 
	5	(3D+P), S / (4D+P)	
	6	×	
6	1	(D+P), (D+P), (D+P)	slot #1 ~ #6 
	5	(4D+P), S	
	6	(4D+P+Q)	
7	1	(D+P), (D+P), (D+P), S	slot #1 ~ #7 
	5	(2D+P), (2D+P), S / (3D+P), (2D+P)	
	6	-	
8	1	(D+P), (D+P), (D+P), (D+P)	slot #1 ~#8 
	5	(2D+P), (3D+P), S / (3D+P), (3D+P)	
	6	-	
9	1	(D+P), (D+P), (D+P), (D+P), S	slot #1 ~ #9 
	5	(3D+P), (3D+P), S / (4D+P), (3D+P)	
	6	-	
10	1	(D+P), (D+P), (D+P), (D+P), (D+P)	slot #1 ~ #10 
	5	(3D+P), (4D+P), S / (4D+P), (4D+P)	
	6	-	
11	1	(D+P), (D+P), (D+P), (D+P), (D+P), S	slot #1 ~#11 
	5	(4D+P), (4D+P), S	
	6	-	
12	1	(D+P), (D+P), (D+P), (D+P), (D+P), (D+P)	slot #1 ~#12 
	5	(3D+P), (3D+P), (2D+P), S / (3D+P), (3D+P), (3D+P)	
	6	(4D+P+Q) (4D+P+Q)	

(D : データ、P : パリティ、S : スペア、Q : セカンドパリティ、× : 構築不可、- : 推奨構成無し)

* Rebuild 時の Rebuild 失敗防止や Rebuild 時間の短縮のため、アレイの最大ディスク数は RAID5 で 5 台以内、RAID6 で 6 台にすることを推奨します

* RAID6 の場合でもスペアディスクを設定することができますが、パリティが 2 台存在することで、(まったく同じではありませんが) ある程度スペアディスクを設定した場合と同等の冗長性を確保できているという考え方にのっとり、積極的なスペアディスクの設定を勧めていません。理由は経済的な面(価格/効果)、および、過信による放置に対する懸念です。RAID6 の場合は 1 台 DEAD した時点で保守にて交換を促すように推奨しています。

*ディスクは最低 4 台の実装が必須です。ディスクスロット番号と位置は下図を参照のこと。



5. ディスクアレイ装置 (ST12300) 管理用ソフト

ディスクアレイ装置 (ST12300) を管理及び監視するためのソフトウェアです。

製品名	StorView	
購入単位	別途購入不要(ディスクアレイ装置 (ST12300) 添付)	
マニュアル	ユーザーズガイド (ディスクアレイ (ST12300) 装置添付) オペレーションマニュアル(ディスクアレイ装置(ST12300)添付媒体にオンラインマ ニュアルとして格納)	
動作環境	対象	ディスクアレイ装置 (ST12300) [N8190-132/137]
	対応 OS	Windows2003 SP1 以降 (32bit) Windows2003 (64bit) Windows 2003 R2(32bit/64bit) Linux *1
	メモリ	StorView を動作させる場合は OS の動作に必要なメモリ + 4 MB 以上必要。 (OS の動作に必要なメモリ + 64MB 以上を推奨)
	ディスク容量	60MB 以上(インストール時はさらに 16MB 以上のディスク空き容量が必要)

(*1) Linux のサポート状況に関しては 8 番街「Linux on Express5800」にてご確認願います。

<http://www.express.nec.co.jp/linux/index.html>

6. ディスクアレイ装置 (ST12300) 関連製品のサポート OS

対応 OS		Windows 2000	Windows 2003 *2			
			Standard Edition	Enterprise Edition	Standard x64 Edition	Enterprise x64 Edition
ディスクアレイ装置(ST12300)						
N8190-132	SAS ディスクアレイ装置 (ST12300 SATA-HDD モデル)	×	*1	*1	○	○
N8190-137	SAS ディスクアレイ装置 (ST12300 SAS-HDD モデル)	×	*1	*1	○	○
ディスクアレイ増設用ディスク						
N8190-133	増設用 250GB HDD	×	*2	*2	○	○
N8190-134	増設用 500GB HDD	×	*2	*2	○	○
N8190-139	増設用 146GB HDD	×	*2	*2	○	○
N8190-140	増設用 300GB HDD	×	*2	*2	○	○
ディスクアレイ装置増設コントローラ						
N8190-138	ディスクアレイ装置用 増設コントローラ	×	*2	*2	○	○
対応 OS		Windows 2003 R2 *2				
		Standard Edition	Enterprise Edition	Standard x64 Edition	Enterprise x64 Edition	
ディスクアレイ装置(ST12300)						
N8190-132	ディスクアレイ装置 (ST12300 SATA-HDD モデル)	○	○	○	○	
N8190-137	ディスクアレイ装置 (ST12300 SATA-HDD モデル)	○	○	○	○	
SAS ディスクアレイ増設用ディスク						
N8190-133	増設用 250GB HDD	○	○	○	○	
N8190-134	増設用 500GB HDD	○	○	○	○	
N8190-139	増設用 146GB HDD	○	○	○	○	
N8190-140	増設用 300GB HDD	○	○	○	○	
ディスクアレイ装置増設コントローラ						
N8190-138	ディスクアレイ装置用 増設コントローラ	○	○	○	○	

(*1) Windows Server 2003(32bit)は SP1 以降のみサポート

(*2) 接続するディスクアレイ装置と同等の扱い。

Linux のサポート状況に関しては 8 番街「Linux on Express5800」にてご確認願います。

<http://www.express.nec.co.jp/linux/index.html>